



—東地中海地域ニュース—

シリア：ハッサール・アサド大統領リビア訪問

(6月10日付現地報道)

6月10日、アサド大統領は、リビアで開催された縮小アラブ首脳会議に出席したほか、同国のカダフィ指導者とも会談した。

1. 縮小アラブ首脳会議

- (1) 6月10日、私のイニシアティブによる地中海連合構想を協議する為に、カダフィ・リビア指導者の提案による縮小アラブ首脳会議がトリポリで開催された。出席者は、カダフィ・リビア指導者のほか、アサド・シリア大統領、ベン・アリ・チュニジア大統領、ブーテフリカ・アルジェリア大統領、アブダッラー・モーリタニア大統領、ファシ・モロッコ第一首相。
- (2) 会議は、当初は公開会合、その後非公開で行なわれた。開会に当たってカダフィ指導者は、アラブ連盟の枠組みにおいて、私の提案の構想についてアラブ諸国の立場を統一する必要があると述べた。
- (3) 会議においてアラブ首脳は、私の構想に対してアラブ人民に資する形でアラブ諸国の統一の立場を取る必要性、相互尊重と構成且つ包括的な中東和平を基礎とした協力となるべきこと、及び意見調整の為の対話の継続につき意見が一致した。

2. アサド大統領とカダフィ指導者との会談

- (1) 10日、アサド大統領派カダフィ指導者と会談し、二国間関係、特に投資分野での関係促進について協議し、両国間の対話と調整の継続を約した。
- (2) 両首脳は、パレスチナ諸派間の対話の支持と同対話の成功に向けてあらゆる努力をする用意があることを強調した。又、両首脳は、ガザに対する制裁の解除を求めた。
- (3) 更に、両首脳は、全てのレバノン諸派に対し、ドーハ合意の完全履行を求めた。

3. 尚、12日付けAPによれば、カダフィ指導者は10日の会議において、アラブ・欧州間及びアフリカ・欧州間の協力は受け入れられるものの、私の提唱の連合はイスラエルを含む上にEU主導であり、アラブ連盟及びアフリカ連合それぞれの一体性を奪うものであり受け入れられないと述べ、他の会議参加国に同調を促した由。